

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	最終目標【年度】	
評価	成果指標(アウトカム指標①) 住宅の耐震化率 (現況値:90.1%(H30))	目標	—	—	—	—	97%	
		実績(見込)	—	—	—	—	【R7】	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
	成果指標(アウトカム指標②)	目標	—	—	—	—	—	
		実績(見込)	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—	
	成果指標(アウトカム指標③)	目標	—	—	—	—	—	
		実績(見込)	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—	
	指標	活動指標(アウトプット指標①) 耐震改修計画の策定数	目標	2,000	2,400	2,800	3,200	4,000
			実績(見込)	1,740	1,892	2,155	(3,200)	【R7】
			(単位当たりコスト)	(62千円)	(13千円)	(47千円)	(24千円)	
達成率(見込)			87.0%	78.8%	(77.0%)	(100.0%)		
活動指標(アウトプット指標②) 耐震改修等の実施数		目標	2,500	3,000	3,500	4,000	5,000	
		実績(見込)	2,012	2,211	3,137	(4,000)	【R7】	
		(単位当たりコスト)	(54千円)	(11千円)	(32千円)	(19千円)		
		達成率(見込)	80.5%	73.7%	89.6%	(100.0%)		
活動指標(アウトプット指標③)		目標	—	—	—	—	—	
		実績(見込)	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—	
		達成率(見込)	—	—	—	—	—	
標	終期設定	有 ()					無	
改善基準	令和7年度(耐震改修促進計画の目標年度)において、目標の達成ができない場合							
自己評価	評価の視点		評価			目標に対する達成状況(総合的評価)		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		・これまで、県民の様々なニーズを捉え、適宜メニューを拡充してきた。 ・しかし、ここ数年は新型コロナの影響等もあり、実績が減少傾向である。			・兵庫県耐震改修促進計画(計画年次:H28~R7)の中間目標(目標90.2%、実績:90.1%(H30))を概ね達成しており、順調に推移している。 ・高齢者世帯等が居住する木造住宅では、工事費の負担等を憂慮し、工事の実施に至らず、耐震化率が低くとどまっている。		
○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		・耐震化工事を促すため、低コスト工法の普及に努めるとともに、補助率の見直しを行うなど、工事費の低減に取り組んでいる。 ・R5からは、従来の個別補助に加え、新たに民間事業者グループが計画策定と改修工事をセットで行うメニューを追加し、民間事業者との連携により、更なる耐震化の推進を支援している。						
評価	課題・今後の方向性							
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 (・高齢者世帯等の住宅の耐震化を進めるため、低コスト工法の推進など所有者負担の軽減や高齢者への効果的な啓発手法や補助対象要件等の見直しなど補助メニューの改善・あり方を検討)							
外部委員会意見	・全県一律ではなく選択と集中をし、地震のリスクが高い地域や高齢者などターゲットを特定し、ターゲット層の耐震化を促進できるよう補助率を変えてみてはどうか。 ・高齢者にとっては本補助への申請事務がネックとなっている場合もあると思われる。申請事務のサポート支援等を実施してはどうか。 ・高齢者世帯に本制度を周知するため、地域包括支援センターとの連携を検討してはどうか。 ・広報が重要である。アウトプット指標として、相談会の設置回数や出前講座の実施回数など、これから自分たちでやっていこうということを設定すべき。							
改善結果								
高齢者世帯数が多く、耐震化率が全県より低い多雪地域における上乗せ補助や低コスト工法の普及促進として講習会や高齢者世帯へ直接届ける広報活動等の取組をより充実させて実施する。 ①多雪加算(加算額:200千円、対象地域:但馬、西播磨一部地域)を行うことで、地域特有の課題に対して補助を拡充し、工事費の負担の軽減を図る。 ②業者向け講習会(精密診断法の設計演習、低コスト工法の施工演習)を充実させることで、工事費の負担軽減に繋がる低コスト工法の普及を図る。 ③高齢者を対象とした市町イベント等で活用できる啓発動画を作成し、広報活動の充実を図る。 ④外部委員の意見を踏まえ、アウトプット指標(活動指標)を設定する。 アウトプット指標:市町イベント等の実施回数 20回/年 アウトプット指標:福祉窓口と連携し、チラシの配布を実施(2,000枚/年)								